

あいさつ

令和6年度長野県学校体育研究会北安曇大会が、多くの先生方にご参集いただき開催できますこと、心より感謝申し上げます。

さて、7月30日（火）、元大町市立第一中学校を会場に行われた「第64回夏期研修会」では、100名の会員と共に、北安曇支部の研究に学ばせていただきました。

北安曇支部は、会員数は多くはありませんが、少数精鋭で、毎年、信州大学教育学部教授 岩田 靖 先生を講師に招き、ご指導いただきながら、研究を積み重ねてきている、歴史ある研究会です。私も、平成28、29年度は北安曇支部に籍を置き、一緒に学ばせていただいていた。

今年度の北安曇支部の研究テーマは、「仲間と創りながら、自ら運動を実践していく力を育てる体育学習のあり方 ～子どもにも教師にも『わかりやすい体育』、対話の質を高める体育授業～」で、研修会の当日、岩田靖先生からは「『わかりやすい教材づくり』の今日的意義を考えるーボール運動系領域の教材づくりを例にー」というテーマで、問題提起をしていただきました。

その後、北安曇支部の研究の方向に沿い、「教師にも子どもにも『わかりやすい体育』（教材化）」、「対話の質を高める手だて」という二つの視点を設け、10の分科会に分かれて協議を行いました。

今回の公開に向けては、白馬北小学校の授業については第2分科会ボール運動で、大町中学校の授業については第3分科会球技（ネット型）で検討いただき、各学校で公開する「キャッチセツトアタックプレルボール（ボール運動 ネット型）」、「バドミントン（球技 ネット型）」の基本的なコンセプトを明らかにし、本日の授業につなげていただきました。

ちなみに、第2分科会ボール運動は①と②があり、①には12名、②には11名の会員が、第3分科会球技（ネット型）は①と②を一緒にし、18名の会員が、それぞれの学校の授業づくりに取り組んでくださいました。

一方、県の研究部ですが、月に1回、オンラインで行う研修会の中で、北安曇支部から情報提供を受けて研究の進捗状況を確認したり、授業者の思いに寄り添った授業づくりをしたり、更には、事前授業を参観させていただき、最終の修正に参画させていただいたり、共に歩ませていただけてきました。

本日は、北安曇支部を中心に、会員の皆さんの参画によって作り上げてきた公開授業、そして、岩田先生の講演会から学ばせていただきましょう。

最後になりましたが、本大会の開催にあたり多大なご支援とご協力をいただきました長野県教育委員会、大町市教育委員会、白馬村教育委員会、信濃教育会、北安曇教育会、北安曇校長会、そして授業を提供いただきます白馬村立白馬北小学校と大町市立大町中学校の皆様、並びに関係各位に心より感謝申し上げます。

長野県学校体育研究会 会長 小笠原 重光